3	1 年	通	現代の国語	履修形態	全員履修
部	次	年	が八の国語	履修単位	2
			科目の目標	教科書	2 東書現国701: 新編現代の国語
に的確認	こ伝える	う力を	支術を身に着け、自分の思いや考えを他者 高めることができるようにする。また、言語が 深めるとともに、言語文化の担い手としての	副教材寺	なし
			**めることもに、言語文化の担い子としての して他者や社会に関わろうとする態度を養		特になし

授業計画(学習内容、単元の目標・ねらい)					
期	月	学習内容(単元)	単元の目標・ねらい		
	4 • 5	【自己を見つめる】 ・こそそめスープ ・ルリボシカミキリの青 【他者に出会う】 ・水の東西	知識•技 能	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	
前 ①			思考·判断· 表現	文章の種類を踏まえて、内容や構成を理解し、要旨や要点を把握する。	
			主体的に学習に取 り組む態度	筆者の気持ちの変化や考えを理解した上で、自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	
	6	【言葉と生活】 ・分かり易い説明をしよう 【視野を広げる】		話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と 親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	
前 ②	7		思考·判断· 表現	目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や筆者の意 図を解釈したりするとともに、自分の考えを深める。	
	9	・無彩の色	主体的に学習に取 り組む態度	積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想 して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	
後 ①	10 • 11	【社会と関わる】 ・鍋洗いの日々 【言葉と生活】 相手に応じた言葉の選び方	知識•技 能	常用漢字の読みに慣れ、それを用いて文や文章の中で使用している。表現するために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や表記の仕方を理解し使うことを通して、語感を磨き豊かにしている。	
			思考·判断· 表現	「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	
			主体的に学習に取 り組む態度	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、筆者の思いを理解し、今までの学習を生かして発表しようとしている。	
後 ②	12 • 1	【世界とつながる】 ・りんごのほっぺ 【未来に目を向ける】 ・真の自立とは	知識・技能	文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	
			思考·判断· 表現	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するととも に、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。	
	• 2			筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から 他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめようとしている。	

評価規準(「おおむね満足できる(B)」と判断できる状況)									
		知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度					
評価のポイント		本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。また、指示された語句について意味や使われ方を理解している。							
		話し言葉の特徴を踏まえて、説明する相手の年齢 や目的に合った語彙を理解している。	説明の目的と相手の立場や年齢にふさわしい 構成になるよう,話す詳しさや順序などを工夫し て話している。						
	(後)	時間軸に注意し、筆者の置かれた状況と周囲の変 化を確認しながら読んで、文章の構成を理解して いる。		職業について、仕事の苦労や喜びの体験談など見聞きしたことを発表しようとしている。					
		意見と根拠(理由)、問いかけとその答えを確認しながら読んで、論理を把握している。	をした筆者の意図について、「作法」という言葉						
評価の場面		定期考査・小テスト 授業中の発言や発表内容 ワークシートの取組	授業中の発言内容や取り組み の姿勢 感想文等の表現や内容	ワークシートの記述 授業中の発言や発表内容 授業態度や取組む姿勢 自己評価や相互評価					